

ジョン・ウィラード・ミルナーは1931年2月20日に米国ニュージャージー州、オレンジで生まれた。ミルナーはニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、数学研究所の卓越した教授にして所長のひとりである。

ジョン・ミルナーはプリンストン大学で学び、1951年に学士号を取得した。卒業後、プリンストンで研究を始め、その類稀な優秀さを示し、1953年、博士号取得以前にプリンストンの学部における職に任ぜられた。1954年にラルフ・フォックスの指導による論文によって博士号を授与された。

ミルナーはアルフレッド・P・スローン・フェローとして1955年から1959年までプリンストンの学部にとどまり、1960年に教授に昇進し、1962年にヘンリー・パットマン・チェアーに任ぜられた。

彼は1967年までプリンストン大学で、この地位にあった。カリフォルニア大学ロス・アンジェルス校とマサチューセッツ工科大学に短期間滞在后、ミルナーは1970年にプリンストン大学高等科学研究所に着任、1989年にニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校の数学研究所の初代所長に就任した。現在も、彼はその所長のひとりである。

ジョン・ミルナーは米国数学会において大きな役割を演じ、1975年から1976年にかけて学会の副会長も務めた。『数学紀要』 (*Annals of Mathematics*) の編集者であった。

ジョン・ミルナーの深遠な思想と根本的な発見は20世紀後半の数学の光景を形成してきた。アーベル賞委員会の言葉を引用すれば、彼は2011年のアーベル賞を「そのトポロジー、幾何学、代数学における先駆的な業績に対して」授与される。ミルナーの全ての業績は、偉大な探求、深遠な洞察、鮮明な想像力、圧倒的な驚異、そして卓越した美を表している。

60年にわたってジョン・ミルナーは現代数学に深い足跡を刻んできた。多くの数学概念、成果、予想に彼の名が冠されている。書物の中には、例えば、ミルナー異種球面、ミルナー・ファイブレーション、ミルナー数、ミルナー＝サーストーン・ニーディング論、ノット論におけるミルナー予想、K理論、組み合わせ群論、正則力学といったものが見出される。

ミルナーの業績の重要性はその目を見張るべき成果のみにとどまらない。彼はまた極めて影響の大きい書物を著し、それらは優れた数学書の模範であると、広く認められている。その著書は『微分トポロジー講義』 (1958)、『モース理論』 (1963)、『 h -コホモロジー定理講義』 (1965)、『複素超曲面の特異点』 (1968)、『代数的K理論入門』 (1971)、『複素変数における力学』 (1999)、『特性類講義』 (J.スタシェフとの共著) (1974) などである。

賞と栄誉:

ジョン・ミルナーには多くの賞と栄誉が授与されてきた。1962年に31歳の若さで、微分位相幾何学における業績によってフィールズ賞を受賞した。最近では2011年に

米国数学会から、その生涯にわたる功績に対してリロイ・P・スティール賞が授与された。選出委員会によれば「ミルナーは、全体としての功績と数学全般への影響という点で、数ある優れた数学者から抜きんでている」。ミルナーは過去にも米国数学会から二つのスティール賞を、数学の解説（2004年）と研究への発展性のある貢献（1982年）に対して授与された。

1989年、ミルナーは、人類に利益をもたらす科学と芸術の推進を意図する国際的な賞であるウルフ賞数学部門を受賞した。ウルフ財団はミルナーの「代数学、組み合わせ、そして可微分の見地からトポロジーに重要な新しい展望を開いた、幾何学における創意に満ちた高度に独創的な発見」を讃えた。

ジョン・ウィラード・ミルナーは1967年に科学の分野で米国ナショナル・メダルを授与された。1963年には国立科学アカデミーの会員に選出された。ミルナーは米国科学芸術アカデミー及び米国哲学会の会員でもある。1994年以来、彼はロシア科学アカデミーの外国人会員であり、また2004年にはヨーロッパ科学アカデミーの会員になった。